

不整脈とは

心臓は下記のように発電所から電気が発生し心房、中継所、心室に流れることで、収縮しています。その電気の流れを記録したものを《心電図》といいます。

[発電所(洞結節)]⇒電線(心房)⇒[中継所(房室結節)]⇒電線(心室)

したがって不整脈とはただ単純に「脈が不整(バラバラ)」という意味だけであり、細かく理解する必要があります。また、不整脈は実際に起こっているときにしか診断できず、自分で脈を確認することも大事になります。

不整脈の種類

脈が速くなるもの…カテーテルアブレーション治療(焼灼療法)

発電所が過剰興奮するもの⇒洞性頻脈

闇(異所性)発電所が過剰興奮するもの⇒心房細動

流れの速い闇(異所性)電線に電気が流れ始めるもの

⇒発作性上室性頻脈、心房粗動、WPW症候群

脈が遅くなるもの…ペースメーカー留置

発電所の故障⇒洞不全症候群

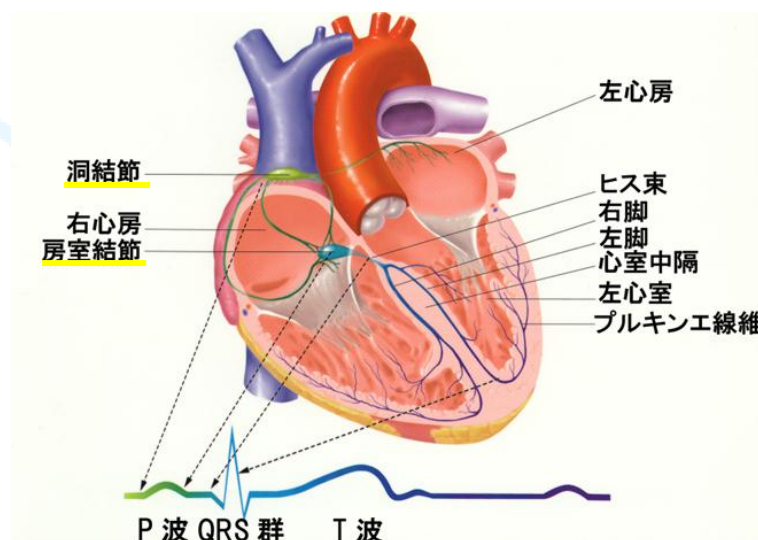
電線の断裂⇒房室ブロック、脚ブロック

良性なのか悪性なのか？

心エコー、運動負荷試験などを行い、治療が必要なのか判断します。

自覚症状があるものか、ないものか？

自覚症状があっても、悪性ものでなければ、経過観察します。



* 患者さまの病状により検査内容が変わることがあります。

* 専門用語に関してはインターネットなどで検索できるように省略していません。